

●「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」が開催されます

人と自然と循環を考える～これからの暮らしに向けて～をテーマに、県内の環境保全活動をしている団体のネットワークづくりを目的に開催します。多くの活動発表があります。ぜひ、ご参加ください

- ・日時／2024年2月18日(日) ・会場／ぴゅあ総合 甲府市朝気1-2-2
- ・内容／【ポスターセッション発表団体】 *甲州市環境課 *NPO法人多摩源流こすげ *東海大学附属甲府高等学校自然科学同好会★ *東京電力パワーグリッド株式会社 山梨総支社 *都留市地域環境課 *八ヶ岳野鳥クラブ★ *株式会社 山梨日日新聞社 *蓬沢いきいきサロン

◆お問合せ・お申込み・主催 「公益財団法人やまなし環境財団 環境パートナーシップやまなし

TEL:055-223-1634 FAX:055-223-1781 E-mail: shizen@pref.yamanashi.lg.jp

●「生物多様性シンポジウム」～地域の植生を基本とした在来種の保護、特定外来種繁殖に伴う保全活動について

グリーン北杜による「生物多様性シンポジウム」を別添チラシのとおり開催されます。山梨県富士山研究所の安田泰輔先生の基調講演や、北杜市内外で活動をしている皆様の活動発表、パネルディスカッションなどを行います。皆様で人と自然の関わりや自然環境の保護・保全について考えてみませんか。

- ・日時／2024年2月4日(日)13～15時 ・須玉農村総合交流ターミナルホール(北杜市須玉町若神子 521-17)
- ・基調講演「侵略的外来植物の生態と防除」講師 山梨県富士山科学研究所 安田 泰輔 氏
- ・活動発表・パネルディスカッション「北杜市立甲陵高等学校 SSH 研究班」「山梨県立笛吹高等学校 植物研究部」「認定 NPO 法人 富士山クラブ 外来植物駆除活動担当 佐伯 弘美 氏」「畑山農場 代表 畑山 貴宏 氏」

◆お問合せ・お申込み・主催 北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会事務局

(北杜市役所 市民環境部 環境課内) TEL:0551-42-1341 Email: greenhokuto@gmail.com

●地球温暖化対策セミナー『甲府から考える脱炭素の未来 2050年「ゼロカーボンシティ」に向けて

地球温暖化と次世代のエネルギーとして期待されている水素エネルギーに関する講演、山梨県内に在住・在学している高校生・大学生を対象に実施した「脱炭素アイデアコンテスト2024」の表彰式や受賞者によるアイデア発表及び受賞者と審査員等との意見交換も行いながら、甲府市が目指す2050年「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて語り合います。

- ・日時／令和6年3月3日(日) 13:30～16:00頃 ・会場 甲府市総合市民会館(甲府市青沼3丁目5-44)
- ・講演『地球温暖化と水素エネルギーのポテンシャル』稲垣有弥氏 山梨大学研究推進・社会連携機構
- ・「脱炭素アイデアコンテスト2024」表彰・発表

●お問合せ・お申込み・主催 甲府市地球温暖化対策地域協議会 甲府市環境部環境総室 甲府市上町 601-4

Tel 055-241-4363 Fax 055-241-6190

●やまなし環境教育ミーティング 2024 参加者募集

山梨県内で地域に根ざした暮らしや教育、環境活動に関わる方の活動を知り互いにつながる機会として年に一度開催。「環境、教育、森のようちえん、くらし、観光、ものづくり、インタープリテーション、ESD、SDGs、農、地域」等キーワードにピンときた方は是非、ご参加ください！きっと素晴らしい出会いがあります。

- ・日時／2024年3月3日(日)10:00～15:30 ・会場／八ヶ岳自然ふれあいセンター 北杜市高根町清里 3545
- ・ゲスト:○饗場 葉留果さん(《一社》やまねいきもの研究所) ○井出 與五右衛門さん(井出醸造店代表)

○岩崎 舞さん(エシカルメディア「taneto」編集長)

【申込みフォーム】<https://ssl.formman.com/t/kvbo/>

事務局電話／0551-48-2900

メール: fureai-c@keep.or.jp

発行：公益財団法人キープ協会
山梨県地球温暖化防止活動推進センター
山梨県北杜市高根町清里 3545
eco@keep.or.jp 電話 0551-48-8011



●「八ヶ岳エコハウスほくほく」で脱炭素な暮らしのヒントを探そう 研修会報告

センター主催事業として、2023年12月18日に、北杜市須玉町にある「八ヶ岳エコハウスほくほく」を会場に、講師の川合英二郎さん(エコハウスほくほく事務局・光岳小屋エコ化リーダー・チリウヒーター(株)副社長)のご案内で、エコハウスへの想いや哲学、リノベーションのプロセス、家の見学や様々な活動展開についてお話を伺いました。

八ヶ岳エコハウスほくほくは、築40年の家をリノベーションしてできた再生可能エネルギー100%の家で「再エネ100%の暮らしは夢ではない、やったら出来た」という実際の現場を体感できる場です。これまで、家づくりの作業体験には200人以上の方が関わり、プロと一緒に作業現場を一般公開し、ハウス完成後は様々な対象者にワークショップを開催し、活動が継続されています。はじめは寒すぎ暑すぎで住みにくかった家を、断熱・気密をしっかりさせ、自然エネルギーを多様に取り入れる中で、心地よい空間になっていった様子をスライドで見せて頂きました。世界各国と日本の建築基準の大きな隔たりには、皆さんむむむ…と唸っておりました(断熱性や気密性が甘い…)家が完成したら終わりではなく、社会に繋げるべく「ほくほくNEXT活動」を展開中で、南アルプス連峰にある光岳小屋のエコ化にも携わっておられるそう。

また、脱炭素社会を作っていくのに、私たちが乗り越えなくてはならないハードルと題して、人の心理を上手につかむ職業のプロは?というクイズから始まり、真面目に関心が高い人しか集まらない場づくりから、ちょっと関心のありそうな隣のコミュニティ(例えば料理好きの会、山登り好き女子会、健康志向の強い集まり等)を巻き込むのも有効では?という提案も頂きました。

後半は、もう一人のゲスト、深澤修さん(富士川町温暖化対策地域協議会 代表)から、最近の活動紹介を伺い、長年、温暖化対策に取り組んで、今、考えること、についてもお話を伺いました。その中でも「大人の火遊び」というユーモアたっぷりのタイトルで、旅行客向けに開催してきた、火おこしからコーヒー豆を炒って、一杯のコーヒーを飲むまでのプロセスを丁寧に味わうプログラムが、海外の観光客にも人気で、感想のコメントを読むと体験の楽しさだけでなく、哲学や価値観についても考えてもらっている事例なども伺いました。「世界はなかなか変えられないが、自分の世界と、自分の世界の見方は変えられる」という深澤さんの言葉が参加者の心に響いていました



参加者からの感想コメントでは、「空き家対策は喫緊の課題、うまく活用できないだろうか」「家を買ったばかりなのでこれからのリノベーションに活かしたい」「今朝、感じた寒さの原因が判明!自宅を改めて見直してみる」「前に自分で断熱材の作業をしたが合っていたのか?!今後の手入れのイメージ作りになった」「教育の中に家づくりというカリキュラムを作るべき」という声がありました。最後にゲスト川合さんから「私の話で少しでも心に響くことがあったなら、今日、何かひとつアクションを起こしてください!脱炭素な社会の一步はそこからです!」という熱い笑顔のメッセージで場は閉じました

気候変動の地元学

2024.1.10(水)
山梨県立図書館



気候変動の被害や対策の状況もこの10年で
どんどん変わっています。(ネガティブではない)批判的
思考を身につけて、住民主導の気候変動対策、
それを通じた人づくり、地域づくりを展開していきましょう!

講師: 白井信雄さん
武蔵野大学工学部
サステナビリティ学科教授

1. 昨今の気候変動対策の動き

80年代? 温暖化? かわかん...??

90年代後半 猛暑到来 大変だー!

2000年代 温度上昇 高とまり

2010年代 豪雨・猛暑 増えてきた...

2020年代 気候の非常事態 宣言など増え 待たない!!

エアコンの普及

4~4.5℃上昇6% 楽々対策!

震災や原発 事故の影響も

一気に かけ出す ねば!!!

気候変動は 弱者にとって より深刻に...
気候難民
気候貧困
気候格差 など...

2. 気候変動対策の進展に対する批判的思考

スピード感はあるけど 市民はついていける?

「ゼロカーボン」 もっと 取りあげよう

緩和策 (低炭素・脱炭素)

適応策 (悪影響への備え 新たな気候の利用)

農作物 どう 作る? とか

「やるふり」を してるだけ!?

大人は 「やるふり」を してるだけ!?

CLIMATE JUSTICE NOW 気候正義を今!

若者の声

「ソーラーパネルは どんどん普及してるけど 景観破壊や土砂くずれの 心配は?」

対策にも いろいろあるけど??

「スピード感はあるけど 市民はついていける?」

「ゼロカーボン」 もっと 取りあげよう

「緩和策 (低炭素・脱炭素)」

「適応策 (悪影響への備え 新たな気候の利用)」

「農作物 どう 作る? とか」

「大人は 「やるふり」を してるだけ!？」

「CLIMATE JUSTICE NOW 気候正義を今!」

「若者の声」

「ソーラーパネルは どんどん普及してるけど 景観破壊や土砂くずれの 心配は?」

「対策にも いろいろあるけど??」

3. 「気候変動の地元学」

自分の 地域を 自分たちで!

① 気候変動の影響を 調べる

② 適応策を 話し合おう!

③ 適切な適応策につなげよう!!

自助・互助の取組 弱者の視点

「地域の課題を 「自分ごと」に!

具体的な 適応能力も 身につく!

日本各地で 始まっているよ!

「気候変動の 「飯田学」長野 「藤野予学」神奈川 「おかやま学」岡山 「えどがわ学」東京

4. 気候変動教育を通じた人づくり・地域づくり

SDGsと気候変動対策を両立させる理想の 社会のための教育

社会変換のための 思考を身につけ 革新を生み出せる 人づくりを!

「できることからさるう」ではなく、失馬区け2フロント ランナーになっていこう! 自分のあり方も変容させて

「気候変動のこうふ学」とか 「気候変動のきよさと学」とか 山梨で立ち上がるというですね ぜひ、一糸者にやりましょう!

「気候変動市民会議 全国津々浦々 (市民が参加して政策に発言)」

意識高い系の人だけじゃなく 高関心層も、 ツワーの人も、 バランスよく参加 できるのが理想

自治体は「ちゃんと検討します」と約束を!

「問い」を大切に!!

「問い」によって...人々が 創造的対話を通して 認識と関係性を編みなおせる ↑

「これはどうして こうなの?」

「その視点、 おもしろいね!」

「一緒に 考えよ」

「新たな意味」を生み出す! アイデア

「答えを急がず」に 「なぜそう思ったか」を 深掘りして理解を 深めていく

Question Formulation Technique

① あるテーマについて 問いを立てる

② 問いを 分類する

③ 問いの形を 転換する

④ 問いに 優先順位 をつける

⑤ 問いを ぶり返す

参加者3~4人グループで 感想や気になったことも 話し合い・Q&A(一部)

オンラインの人は チャットで!

「学校に出前教育をして 行っています。子ども達には話が 届くけど、家庭にはどれだけの 伝えているか気になります...

「気候変動について意識 のある人たちだけの活動に するのではなく、もっと一般の 人にも裾野を広げるには?」

「食田市のとある保育園では 園舎の屋根のソーラーパネルで 発電しています。その結果、子ども が親に電気のつけ方注意したり、園の 影響で太陽光発電 にシフトするケース も出てきたそうですよ。」

「気候変動」と言っても集ま らないけれど、関心が高い人が集う 場所に行く、人々の関心の高い他の テマとコラボするなど。

「防災」とか「アイドル」 とか、工夫次第で いくらでも!!

「他の自治体では どのような活動や対策を しているか知りたい!

「2018年から、都道府県 ごとに「気候変動適応センター」 を設置しています。(山梨は 県庁のエネルギー政策課内) 全国のセンターのHPをチェック! 政策がなければ、 作ろうと提案して みましょう」